

校種・教科等	中学校・音楽	受審番号	氏名
--------	--------	------	----

『中学校・音楽科』 模擬授業課題

- (1) 日 時 令和6年6月20日 第2校時(50分)
- (2) 場 所 音楽室
- (3) 学年・学級 第3学年1組(30名) 使用教科書 音楽のおくりもの2・3下(教育出版社 P26～30)
- (4) 題 材 名 音楽の背景を理解し、曲想と音楽の構造との関わりを考えながら鑑賞しよう
- (5) 指導する生徒の状況
- 【既習事項】**
第2学年で、「交響曲第5番ハ短調」を用い、曲想と音楽の構造(リズム、音色、形式)との関わりについて学習し、歌唱や器楽においても、音楽を形づくっている要素に着目しながら、音楽表現の工夫を考えることができている。
- 【題材のねらい】**
- ・曲想と音楽の構造(音色・旋律・テクスチュア)について理解する。
 - ・作曲された背景を理解し、背景と関わらせながら音楽を味わう。
- 【生徒の状況】**
- ・音楽への興味・関心が高い。
 - ・知覚・感受したことを言葉で表現したり、記述したりすることができる生徒が多いが、中には言語化するのが苦手な生徒もいるため配慮が必要である。
 - ・各自のタブレット端末には、学習者用のデジタル教科書が入っており、それらを用いた学習に慣れている。

(6) 指導計画(全6時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第1時	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容を理解する。 ・「ブルタバ」の作曲者や作曲された背景について、各自で調べる。 ・「ブルタバ」を聴き、曲の印象についてグループや全体で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 一斉 個別 グループ等 	主体的に学習に取り組む態度
第2時	<ul style="list-style-type: none"> ・「ブルタバの二つの水源」から「ブルタバの主題(P28)」までをタブレット端末を用いて個々に聴き、音色・旋律・テクスチュア等について、知覚・感受したことをワークシートに記述する。 ・グループで意見を共有したり、音楽で確認したりする。 ・グループからの発表をもとに、全体で曲想と音楽の構造を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別 グループ 一斉 	知識 思考・判断・表現
第3時	<ul style="list-style-type: none"> ・「森-狩り」から、「村の結婚式」までをタブレット端末を用いて個々に聴き、音色・旋律・テクスチュア等について、知覚・感受したことをワークシートに記述する。 ・グループで意見を共有したり、音楽で確認したりする。 ・グループからの発表をもとに、全体で曲想と音楽の構造を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別 グループ 一斉 	
第4時	<ul style="list-style-type: none"> ・「月、水の精の踊り」と「ブルタバの主題(P29)」までをタブレット端末を用いて個々に聴き、音色・旋律・テクスチュア等について、知覚・感受したことをワークシートに記述する。 ・グループで意見を共有したり、音楽で確認したりする。 ・グループからの発表をもとに、全体で曲想と音楽の構造を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別 グループ 一斉 	
第5時	<ul style="list-style-type: none"> ・「聖ヨハネの急流」から最後までタブレット端末を用いて個々に聴きながら、音色・旋律・テクスチュア等について、知覚・感受したことをワークシートに記述する。 ・グループで意見を共有したり、音楽で確認したりする。 ・グループからの発表をもとに、全体で曲想と音楽の構造を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別 グループ 一斉 	
第6時	<ul style="list-style-type: none"> ・作曲された背景を関わらせながら、再度曲を通して聴き、批評文を作成し、グループで発表しあう。 ・この題材について、まとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別 グループ 一斉 	

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

『中学校・音楽科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和6年6月20日 第2校時(50分)

(2) 場 所 音楽室

(3) 学年・学級 第3学年1組(30名) 使用教科書 音楽のおくりもの2・3下(教育出版社 P26~30)

(4) 題 材 名 音楽の背景を理解し、曲想と音楽の構造との関わりを考えながら鑑賞しよう

(5) 指導する生徒の状況

【既習事項】

第2学年で、「交響曲第5番ハ短調」を用い、曲想と音楽の構造(リズム、音色、形式)との関わりについて学習し、歌唱や器楽においても、音楽を形づくっている要素に着目しながら、音楽表現の工夫を考えることができています。

【題材のねらい】

- ・曲想と音楽の構造(音色・旋律・テクスチュア)について理解する。
- ・作曲された背景を理解し、背景と関わらせながら音楽を味わう。

【生徒の状況】

- ・音楽への興味・関心が高い。
- ・知覚・感受したことを言葉で表現したり、記述したりすることができる生徒が多いが、中には言語化するのが苦手な生徒もいるため配慮が必要である。
- ・各自のタブレット端末には、学習者用のデジタル教科書が入っており、それらを用いた学習に慣れている。

(6) 指導計画(全6時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第1時	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容を理解する。 ・「ブルタバ」の作曲者や作曲された背景について、各自で調べる。 ・「ブルタバ」を聴き、曲の印象についてグループや全体で共有する。 	一斉 個別 グループ等	主体的に学習に取り組む態度
第2時	<ul style="list-style-type: none"> ・「ブルタバの二つの水源」から「ブルタバの主題(P28)」までをタブレット端末を用いて個々に聴き、音色・旋律・テクスチュア等について、知覚・感受したことをワークシートに記述する。 ・グループで意見を共有したり、音楽で確認したりする。 ・グループからの発表をもとに、全体で曲想と音楽の構造を確認する。 	個別 グループ 一斉	知識 思考・判断・表現
第3時	<ul style="list-style-type: none"> ・「森-狩り」から、「村の結婚式」までをタブレット端末を用いて個々に聴き、音色・旋律・テクスチュア等について、知覚・感受したことをワークシートに記述する。 ・グループで意見を共有したり、音楽で確認したりする。 ・グループからの発表をもとに、全体で曲想と音楽の構造を確認する。 	個別 グループ 一斉	
第4時	<ul style="list-style-type: none"> ・「月、水の精の踊り」と「ブルタバの主題(P29)」までをタブレット端末を用いて個々に聴き、音色・旋律・テクスチュア等について、知覚・感受したことをワークシートに記述する。 ・グループで意見を共有したり、音楽で確認したりする。 ・グループからの発表をもとに、全体で曲想と音楽の構造を確認する。 	個別 グループ 一斉	
第5時	<ul style="list-style-type: none"> ・「聖ヨハネの急流」から最後までタブレット端末を用いて個々に聴きながら、音色・旋律・テクスチュア等について、知覚・感受したことをワークシートに記述する。 ・グループで意見を共有したり、音楽で確認したりする。 ・グループからの発表をもとに、全体で曲想と音楽の構造を確認する。 	個別 グループ 一斉	
第6時	<ul style="list-style-type: none"> ・作曲された背景を関わらせながら、再度曲を通して聴き、批評文を作成し、グループで発表しあう。 ・この題材について、まとめをする。 	個別 グループ 一斉	

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

『中学校・音楽科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和6年6月20日 第2校時(50分)

(2) 場 所 音楽室

(3) 学年・学級 第3学年1組(30名) 使用教科書 音楽のおくりもの2・3下(教育出版社 P26~30)

(4) 題 材 名 音楽の背景を理解し、曲想と音楽の構造との関わりを考えながら鑑賞しよう

(5) 指導する生徒の状況

【既習事項】

第2学年で、「交響曲第5番ハ短調」を用い、曲想と音楽の構造(リズム、音色、形式)との関わりについて学習し、歌唱や器楽においても、音楽を形づくっている要素に着目しながら、音楽表現の工夫を考えることができています。

【題材のねらい】

- ・曲想と音楽の構造(音色・旋律・テクスチュア)について理解する。
- ・作曲された背景を理解し、背景と関わらせながら音楽を味わう。

【生徒の状況】

- ・音楽への興味・関心が高い。
- ・知覚・感受したことを言葉で表現したり、記述したりすることができる生徒が多いが、中には言語化するのが苦手な生徒もいるため配慮が必要である。
- ・各自のタブレット端末には、学習者用のデジタル教科書が入っており、それらを用いた学習に慣れている。

(6) 指導計画(全6時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第1時	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容を理解する。 ・「ブルタバ」の作曲者や作曲された背景について、各自で調べる。 ・「ブルタバ」を聴き、曲の印象についてグループや全体で共有する。 	一斉 個別 グループ等	主体的に学 習に取り組 む態度
第2時	<ul style="list-style-type: none"> ・「ブルタバの二つの水源」から「ブルタバの主題(P28)」までをタブレット端末を用いて個々で聴き、音色・旋律・テクスチュア等について、知覚・感受したことをワークシートに記述する。 ・グループで意見を共有したり、音楽で確認したりする。 ・グループからの発表をもとに、全体で曲想と音楽の構造を確認する。 	個別 グループ 一斉	知識 思考・ 判断・ 表現
第3時	<ul style="list-style-type: none"> ・「森-狩り」から、「村の結婚式」までをタブレット端末を用いて個々で聴き、音色・旋律・テクスチュア等について、知覚・感受したことをワークシートに記述する。 ・グループで意見を共有したり、音楽で確認したりする。 ・グループからの発表をもとに、全体で曲想と音楽の構造を確認する。 	個別 グループ 一斉	
第4時	<ul style="list-style-type: none"> ・「月、水の精の踊り」と「ブルタバの主題(P29)」までをタブレット端末を用いて個々で聴き、音色・旋律・テクスチュア等について、知覚・感受したことをワークシートに記述する。 ・グループで意見を共有したり、音楽で確認したりする。 ・グループからの発表をもとに、全体で曲想と音楽の構造を確認する。 	個別 グループ 一斉	
第5時	<ul style="list-style-type: none"> ・「聖ヨハネの急流」から最後までタブレット端末を用いて個々で聴きながら、音色・旋律・テクスチュア等について、知覚・感受したことをワークシートに記述する。 ・グループで意見を共有したり、音楽で確認したりする。 ・グループからの発表をもとに、全体で曲想と音楽の構造を確認する。 	個別 グループ 一斉	
第6時	<ul style="list-style-type: none"> ・作曲された背景を関わらせながら、再度曲を通して聴き、批評文を作成し、グループで発表しあう。 ・この題材について、まとめをする。 	個別 グループ 一斉	

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

『中学校・音楽科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和6年6月20日 第2校時(50分)

(2) 場 所 音楽室

(3) 学年・学級 第3学年1組(30名) 使用教科書 音楽のおくりもの2・3下(教育出版社 P26~30)

(4) 題 材 名 音楽の背景を理解し、曲想と音楽の構造との関わりを考えながら鑑賞しよう

(5) 指導する生徒の状況

【既習事項】

第2学年で、「交響曲第5番ハ短調」を用い、曲想と音楽の構造(リズム、音色、形式)との関わりについて学習し、歌唱や器楽においても、音楽を形づくっている要素に着目しながら、音楽表現の工夫を考えることができています。

【題材のねらい】

- ・曲想と音楽の構造(音色・旋律・テクスチュア)について理解する。
- ・作曲された背景を理解し、背景と関わらせながら音楽を味わう。

【生徒の状況】

- ・音楽への興味・関心が高い。
- ・知覚・感受したことを言葉で表現したり、記述したりすることができる生徒が多いが、中には言語化するのが苦手な生徒もいるため配慮が必要である。
- ・各自のタブレット端末には、学習者用のデジタル教科書が入っており、それらを用いた学習に慣れている。

(6) 指導計画(全6時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第1時	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容を理解する。 ・「ブルタバ」の作曲者や作曲された背景について、各自で調べる。 ・「ブルタバ」を聴き、曲の印象についてグループや全体で共有する。 	一斉 個別 グループ等	主体的に学 習に取り組 む態度
第2時	<ul style="list-style-type: none"> ・「ブルタバの二つの水源」から「ブルタバの主題(P28)」までをタブレット端末を用いて個々で聴き、音色・旋律・テクスチュア等について、知覚・感受したことをワークシートに記述する。 ・グループで意見を共有したり、音楽で確認したりする。 ・グループからの発表をもとに、全体で曲想と音楽の構造を確認する。 	個別 グループ 一斉	知識 思考・ 判断・ 表現
第3時	<ul style="list-style-type: none"> ・「森-狩り」から、「村の結婚式」までをタブレット端末を用いて個々で聴き、音色・旋律・テクスチュア等について、知覚・感受したことをワークシートに記述する。 ・グループで意見を共有したり、音楽で確認したりする。 ・グループからの発表をもとに、全体で曲想と音楽の構造を確認する。 	個別 グループ 一斉	
第4時	<ul style="list-style-type: none"> ・「月、水の精の踊り」と「ブルタバの主題(P29)」までをタブレット端末を用いて個々で聴き、音色・旋律・テクスチュア等について、知覚・感受したことをワークシートに記述する。 ・グループで意見を共有したり、音楽で確認したりする。 ・グループからの発表をもとに、全体で曲想と音楽の構造を確認する。 	個別 グループ 一斉	
第5時	<ul style="list-style-type: none"> ・「聖ヨハネの急流」から最後までタブレット端末を用いて個々で聴きながら、音色・旋律・テクスチュア等について、知覚・感受したことをワークシートに記述する。 ・グループで意見を共有したり、音楽で確認したりする。 ・グループからの発表をもとに、全体で曲想と音楽の構造を確認する。 	個別 グループ 一斉	
第6時	<ul style="list-style-type: none"> ・作曲された背景を関わらせながら、再度曲を通して聴き、批評文を作成し、グループで発表しあう。 ・この題材について、まとめをする。 	個別 グループ 一斉	

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。